

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助演習Ⅱ		必修（精） 選択（社.心）	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山口 雅弘	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 実践に基づいた専門職であるソーシャルワーカーには、知識だけでなく高い実践力が求められる。このため、演習Ⅱにおいてはソーシャルワーク実践における基本的な対人援助技術や方法、対象者などについて、視聴覚教材や演習を通して学ぶ。 担当教員は精神科病院で精神保健福祉士として 20 年以上相談支援業務に従事しており、また、実習指導も 5 年以上行っているため、現場で出会うことが予想される対象者や場面も想定しながら、これまで学んできたソーシャルワークの理論・価値を実際の現場で具体化していくための知識や技術を習得することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 講義はテキストの事例、創作事例をもとに個人ワークとグループワークを中心にして進めていく。グループで事例や課題を検討し、課題ごとに発表、全体共有を行う。</p>				
学習上の助言	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことを目指している。そのため、主体的・能動的に授業に臨む姿勢が一番に求められる。				
教科書	精神保健福祉援助演習（基礎・専門）第2版（新・精神保健福祉士養成講座8）／編：日本精神保健福祉士養成校協会／中央法規出版				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	対人援助職に必要な様々な援助実践モデルやアプローチ、課題、対象者を想定し理解できる。	HSU(1)、WP(1)			
②	さまざまな援助実践モデルやアプローチについて基本的な実践を行うことができる。	HSU(5)、WP(5)			
③	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことができる。	HSU(4)、WP(2)～(4)、WP(6)			
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	授業オリエンテーション、授業概要や学習方法を確認する。	講義	今回の内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
2	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ストレングスモデルを学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
3	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】リハビリテーションモデルについて学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
4	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】危機介入について学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
5	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】チームアプローチについて学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
6	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ケアマネジメントについて学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
7	【支援課題を基盤とした演習】医療に結びつける援助を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
8	【支援課題を基盤とした演習】地域移行支援・地域定着支援・居住支援①を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
9	【支援課題を基盤とした演習】地域移行支援・地域定着支援・居住支援②を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
10	【支援課題を基盤とした演習】権利擁護を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
11	【対象者別に見た演習】認知症高齢者を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
12	【対象者別に見た演習】就労支援・生活支援を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
13	【対象者別に見た演習】地域支援を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	
14	【対象者別に見た演習】当事者支援を学習する。	講義・演習	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	【隔週の総括】全体を振り返ってのまとめを行う。	講義	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。	4			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	15	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の演習授業の際に、達成度評価の指標に合わせた評価票を学生毎に作成し、教員が評価。 演習時の取り組みの姿勢やコミュニケーションの様子、リアクションペーパー等により教員が評価。	授業の中で講評及び解説を行う。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>【実務経験のある教員による授業科目】</p> <p><b>教員の 実務経験：</b>精神保健福祉士として 20 年以上の現場経験。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>教員が現場で支援した対象者や実際の支援場面を取り入れながら、教科書で示される演習事例とあわせて学習していく。実際の支援場面における精神保健福祉士の価値や倫理について、教員の現場経験も学習における資料の一助としながら学べるような演習を実施する。個人情報には配慮し、個人が特定できる情報は提示しない。</p> <p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。</p> <p>※今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、再度シラバスが変更となる可能性がある</p>							